

各 位

病害虫発生予察技術資料について

高知県病害虫防除所長

平成23年度病害虫発生予察技術資料第1号を送付します。

高知県版ブラスタム（アメダスデータを用いた葉いもち感染予測システム）の判定結果について

本年は5月10日から13日にかけて、県内各地でブラスタムによる葉いもちの感染好適日が平年より早くから発生しています。本年の梅雨入りは5月26日で、平年よりも10日、昨年よりも18日早く、今後も曇雨天が続くと予想されるため、感染好適条件及び準感染好適条件が連続して発生する可能性があります。

しかし、梅雨入り後は気温がやや低く推移したため、感染好適日の出現は比較的少なく、5月下旬の巡回調査等においては、早期稲・普通期稲ともに葉いもちの発生は確認されませんでした。しかし上記のように、近年で最も発生が懸念される条件が整っており、今後曇雨天が続き感染好適条件が多く出現すると、葉いもちの発生が多くなることが懸念されます。また、今後の気象予報では気温が平年並からやや高いと予想されていることから、十分注意してください。

< 高知県版ブラスタムとは >

病害虫防除所では、アメダスデータ（気温、降水量、日照時間、風速）を利用して、葉いもちの感染に好適な条件かどうかの判定をコンピューターにより行っています。いもち病菌の胞子が発芽、感染するためには、次のような条件が必要です。

- 1．葉面湿潤時間が8時間以上
- 2．葉面湿潤時間中の平均気温が15～25
- 3．前5日間の平均気温が20～25

これらの条件がすべて満たされるとき、感染好適条件があったものと判定しています。

感染好適条件日が、連続して広い地域で出現した場合、通常それから7～10日後に葉いもちの初発生が認められるようになります（全般的初発生時期）。更にこの全般的初発生時期から約1週間後、発病の増加が始まります（発病増加開始期）。通常この時期が、粉剤等による一般的な防除適期となりますので、防除時期の目安にしてください。また条件の一部が不足した場合を、準感染好適日としています。これが続いても発病が始まりますので、注意してください。

「防除対策」

- 1）早期稲地帯では幼穂形成期をむかえており、出穂期にかけて穂いもちの発生に注意してください。
- 2）葉いもちが発生している普通期稲では、進行性病斑にならないように適正な管理に努めてください。箱施用剤等で予防を行っている場合は、薬剤の効力がなくなる時期以降の発生に気をつけてください。
- 3）薬剤防除する場合は、周辺作物への薬剤の飛散に十分に気をつけてください。

表 高知県版プラスタムによるいもち病の感染好適条件の判定結果(5/1～6/9)

	本川	本山	大栃	高知	後免	日章	安芸	檮原	須崎	窪川	室戸岬	江川崎	佐賀	宿毛	中村	清水
5/1	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-
5/2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/4	3	3	3	3	3	-	3	3	3	3	-	3	3	3	3	-
5/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/7	3	-	3	4	4	4	4	3	1	-	-	4	1	-	-	-
5/8	3	4	4	4	4	1	-	4	-	1	-	-	1	1	1	-
5/9	?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/11	-	-	-	-	●	-	-	1	1	1	-	●	1	-	●	-
5/12	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
5/13	1	●	●	●	●	-	●	-	-	●	-	●	●	-	-	-
5/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/22	-	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-	-	1	●	●	-
5/23	-	-	-	●	-	-	-	1	4	4	-	-	-	-	-	-
5/24	-	-	-	-	-	-	●	3	-	-	-	4	-	-	-	-
5/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
5/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/27	-	1	1	1	1	1	4	4	-	-	-	1	1	-	●	-
5/28	1	1	4	1	1	1	1	1	1	4	-	1	4	1	4	-
5/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	●	-	-	-
6/3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/5	-	-	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-
6/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
6/7	-	-	-	-	-	-	-	4	●	4	-	4	-	-	-	-
6/8	1	1	1	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	4	-
6/9	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
	本川	本山	大栃	高知	後免	日章	安芸	檮原	須崎	窪川	室戸岬	江川崎	佐賀	宿毛	中村	清水

< プラスタムの判定表示説明 >

感染好適条件(●)：

葉面湿潤条件が充分で、湿潤時間中の平均気温が15～25、前5日間の平均気温が20～25で、これらの条件がすべて満たされるとき、葉いもちの大量感染に好適な気象条件が出現したものと判断して「感染好適日」とし、●印で表示しています。

準感染好適条件(1～4)：

葉面湿潤時間は充分であるが、その他の条件が一部不足している場合を「準感染好適日」としています。その際、判定の条件の違いを数字で示しています。1は前5日間の平均気温が19未満の場合、2は前5日間の平均気温が25を超える場合、3は湿潤時間中の平均気温が15未満または25を超える場合、4は湿潤継続時間が不足している場合に当たります。これらの準感染好適日が続いても発病が始まるので注意が必要です。

詳細及び上記の期間以外の判定結果につきましても、病害虫防除所のホームページに掲載していますのでご参照ください(www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/byoki/boujoshou)。